

## ‘22夏季手当第3回交渉！！

### 会社の考え「省と株主に挟まれて…」

中央本部は6月10日、『第3回交渉』を行いました。

会社側の現段階での考え方が、明らかになりました。

- ① JR 貨物グループ長期ビジョン2030で掲げた4つの価値を生み出すために全計画を取り組んできたが、社会情勢が不安定になった今、どうなるかわからない。
- ② 自然災害等による収入減により、2022年3月期貨物会社は△12億円、連結で+2億円であった。
- ③ 2022年度以降は、経済は回復しつつあるが、農産物の不作や輸入品目の停止による生産業の停止による影響が出ている。
- ④ 昨年末の脱線事故による監査において業務改善指示が出された。二度と事故を起こさないための対策を実施していく。
- ⑤ コロナの中で社員の奮闘による収入確保には感謝している。しかし、昨年度の下半期の成績と皆さんの頑張りとは直近の収入状況を鑑みて判断する。

以上の会社の考えを述べたうえで、

会社「昨年の冬の水準は確保したい。しかし、株主と省に挟まれて大変なのもわかってほしい」と発言しました。

組合側としては「大変なのは会社だけではない。それが経営責任である。現場はそれ以上に苦勞している。職場を見ろ！」と返しました。

会社は、「期末手当は生活給である事は否定しない」と前回の交渉では言いました。「昨冬の水準は確保したい」ということは、現時点それより低いということです。しかし、昨冬の水準でも今月以降の物価上昇分の生活水準には全く追いついていません。会社はまたしても社員に「我慢」を強要するのでしょうか？

**6月14日（火）は全国統一集会！職場集会に集結しよう！**

青年部の皆さん、このような無責任な対応を許すことは出来ません。1人でも多く会社幹部に組合員の声を届けるために、集会・常駐への参集をし、怒りの声をFAXにこめて、役員に託してください。